

## ミスミグループ 2022年3月期 上期決算報告

2021年10月29日  
代表取締役社長  
大野龍隆

1. 21年度上期決算の概要	2
2. 21年度通期連結業績見通し	13

### 21年度上期決算の概要

為替レート(対円)	FY20上期 実績	FY21上期 実績
USドル	106.7円	110.2円
ユーロ	121.4円	131.0円
人民元	15.2円	17.0円

### 21年度上期市況と当社の取り組み

顧客がコロナ禍後の新常态を模索する中、**市況は多少混乱気味**

- ・ 強い需要を背景に、半導体始め、各種材料、部品の品薄状況
- ・ コロナ影響により一部地域ではサプライチェーンが混乱
- ・ 顧客の稼働率は**高位ながら波動振幅は極めて不安定**

当社はこれら市況影響を受けつつ、

- ・ 中国に牽引される形で、国内含む全地域で需要が回復
- ・ 昨年から取り組んでいる**収益改善徹底**を継続
- ・ グローバル生産・供給網を駆使して**確実短納期堅守**に尽力
- ・ しかしながら**一部で欠品、工場稼働制約(越)**の影響を受ける

**好・悪材料ある中で上期は計画過達、半期として過去最高の業績**

## 21年度上期 決算概要

売上高、営業利益ともに半期決算として過去最高を更新  
 大幅増益要因は①昨年から着手した収益改善②売上増③為替影響

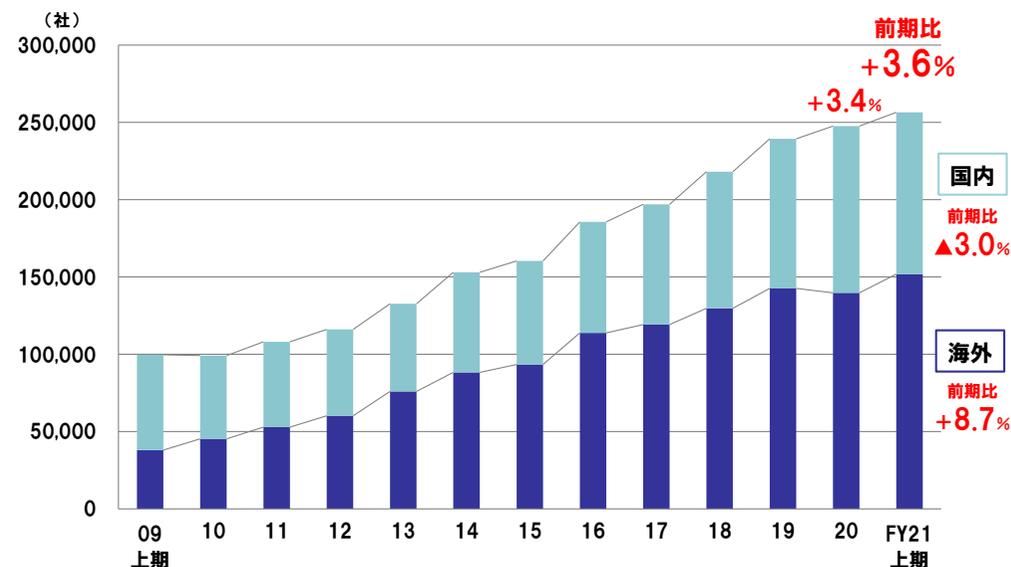
項目	FY20上期		FY21上期		
	実績	7/30 修正計画	実績	増減率	
				対前年	対計画
売上高	143,302	179,900	182,238	+27.2%	+1.3%
営業利益	9,126	25,500	28,494	+212.2%	+11.7%
利益率	6.4%	14.2%	15.6%	+9.3pt	+1.5pt
経常利益	9,108	25,400	28,694	+215.0%	+13.0%
当期利益	6,708	18,600	20,831	+210.5%	+12.0%

百万円

4

## 21年度上期 顧客数推移

海外：前年のLD影響から回復、全地域でコロナ前水準を越す顧客増  
 国内：コロナ影響を受けなかった前年に比べ微減も単価は大幅上昇



5

## 21年度上期 事業別売上高

FA 中国の継続成長に加え、日・亜・欧・米全地域で回復  
 金型部品 米・日・亜を中心に自動車関連需要を着実に獲得  
 VONA 旺盛な自動化需要を背景に国内外で回復基調継続

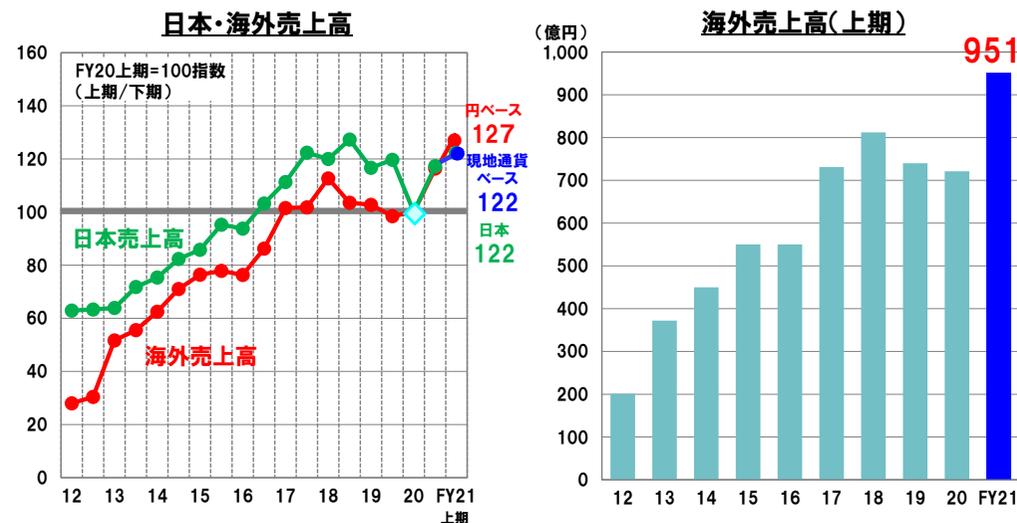
項目	FY20上期		FY21上期	
	実績	実績	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	143,302	182,238	+27.2%	+22.2%
FA事業	47,810	59,073	+23.6%	+18.5%
金型部品事業	31,028	37,515	+20.9%	+14.8%
VONA事業	64,464	85,649	+32.9%	+28.5%

百万円

6

## 21年度上期 日本・海外売上高

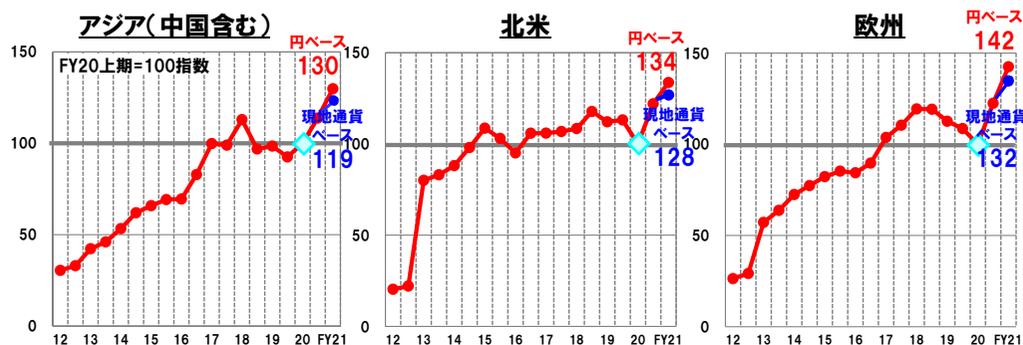
日本 半導体関連を中心に需要回復も過去最高に対しては途上  
 海外 全地域で増収、上期売上高として過去最高を更新  
 海外売上高は現地通貨ベースで22.2%増、海外比率は52%



7

## 21年度上期 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中は5G・二次電池、亜は自動車・半導体関連がけん引  
米・欧 EVを軸に製造業全般が回復、物流・医療等の需要も獲得



中国 124(111)  
アジア 138(131)  
( )内は現地通貨ベース

為替レート(対円)	FY20上期 実績	FY21上期 実績
USドル	106.7円	110.2円
ユーロ	121.4円	131.0円
人民元	15.2円	17.0円

8

## 21年度上期 事業別営業利益

コロナ影響による活動制限を前提に、上期販管費は計画時点で抑制  
収益改善/売上増/為替影響で各事業とも大幅増益

項目	FY20上期		FY21上期			
	実績	利益率	実績		対前年増減率	
			利益率	円ベース	現地通貨ベース	
合計	9,126	6.4%	28,494	15.6%	+212.2%	+175.0%
FA事業	6,128	12.8%	12,796	21.7%	+108.8%	+90.6%
金型部品事業	1,273	4.1%	5,091	13.6%	+300.0%	+266.4%
VONA事業	1,725	2.7%	10,606	12.4%	+515.0%	+441.1%

百万円

9

## 21年度上期 収益改善効果

収益改善の主な取り組み

- ・ 市場での競争性を鑑みた価格設定の適正化
- ・ 高付加価値商品の販売強化による商品MIXの良化
- ・ 生産、調達のコストダウン
- ・ 非効率業務の抜本的見直し等による販管費抑制

下期以降も従来の取り組みを強化すると共に

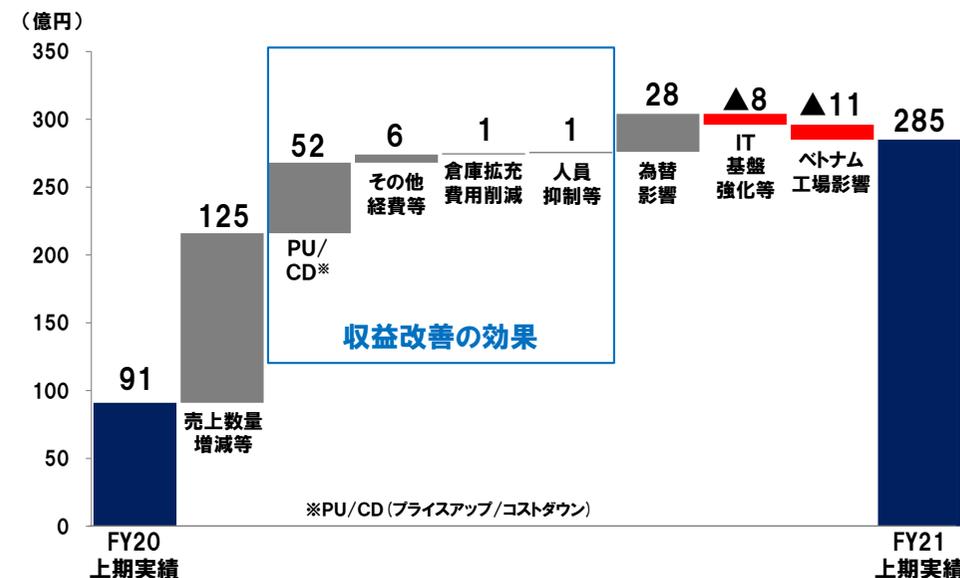
- ・ 低収益商品の販売中止・サービス停止
- ・ VONA事業における商品の絞りと集中

等により、収益改善策を継続・強化

10

## 21年度上期 営業利益増減分析(前年比)

売上数量増、為替影響に加え、収益改善は当初計画を上回る効果  
IT基盤強化やベトナム工場影響への対応費用を吸収し大幅増益

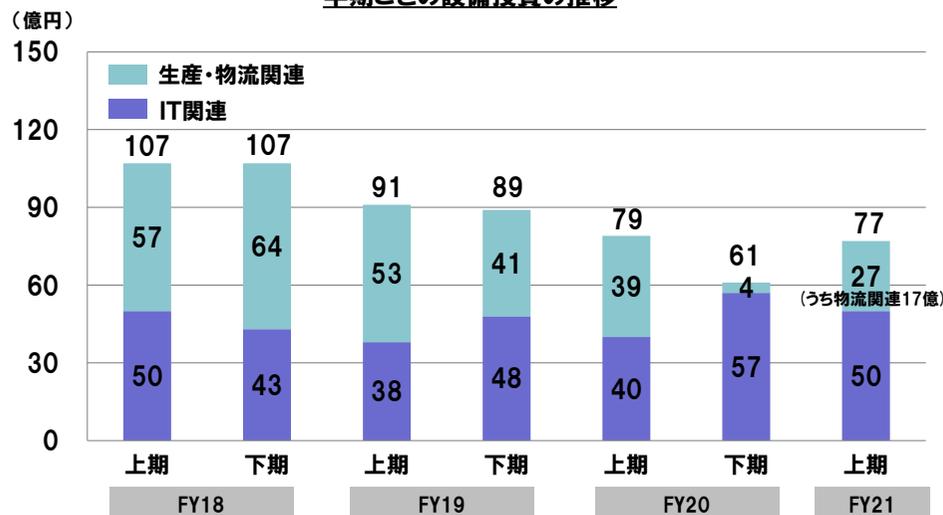


11

## 投資実績

基幹システム刷新等のIT強化投資は将来を見越し先行発動  
需要動向を踏まえて抑制した生産・物流投資は下期より積極展開

半期ごとの設備投資の推移



12

## 21年度通期連結業績見通し

為替レート(対円)	FY20 実績	FY21 下期計画	FY21 通期計画
USドル	106.2円	107.0円	108.7円
ユーロ	123.7円	128.0円	130.1円
人民元	15.6円	16.5円	16.8円

13

## 21年度 今後の見立て

世界的なものづくり構造改革の潮流、中長期的自動化需要の高まりは不変も、**不確実性高まる**

- ・ エネルギー、原材料調達難、サプライチェーンの崩れ
- ・ 中国リスク(景気後退、電力制限等)の高まり
- ・ **地政学リスク低減シナリオ、主要メーカーの戦略更新に要注視**

当社は

短期的: 確実短納期の供給網駆使に留まらず、一層の**強靱化**に着手、変化対応力を強化

長期的: 持続的成長に向けて、**事業モデルの革新を継続強化**

14

## 21年度 通期業績見通し

上期過達分を反映し予想を修正、下期は計画時点の慎重な見方据置  
成長に向けた打ち手を積極的に展開するとともに収益改善を徹底

百万円

項目	FY20 実績	FY21				
		修正計画 (10/28)	対前年増減率		対修正計画(7/30)	
			円ベース	現地通貨 ベース	円ベース	現地通貨 ベース
売上高	310,719	356,000	+14.6%	+11.8%	+0.6%	+0.3%
営業利益	27,199	48,500	+78.3%	+65.8%	+6.6%	+5.6%
利益率	8.8%	13.6%	+4.9pt	+4.2pt	+0.7pt	+0.7pt
経常利益	27,189	48,500	+78.4%	-	+7.3%	-
当期利益	17,138	35,200	+105.6%	-	+6.7%	-

15

## 21年度 事業別売上高見通し

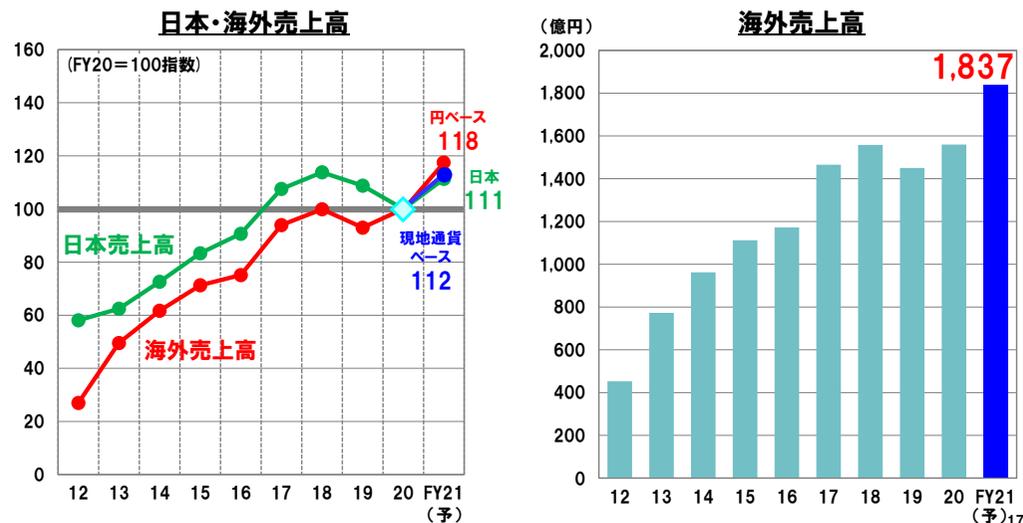
EV関連等の自動化需要は継続するも足元懸念材料の影響を織込  
FA、VONAは過去最高更新の見込み、金型も年間で成長を確保

項目	百万円			
	FY20 実績	FY21 修正計画 (10/28)	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	310,719	356,000	+14.6%	+11.8%
FA事業	102,244	119,321	+16.7%	+13.8%
金型部品事業	66,871	73,261	+9.6%	+6.2%
VONA事業	141,602	163,419	+15.4%	+13.1%

16

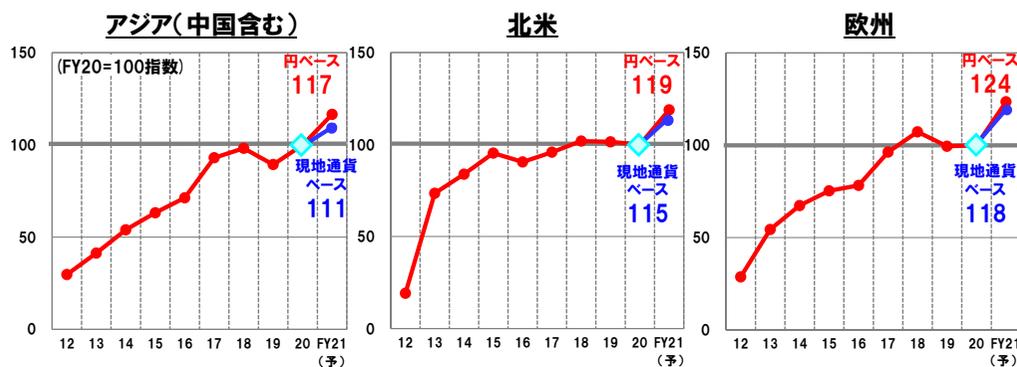
## 21年度 日本・海外売上高

日本 半導体・EV関連の需要継続も、部品調達難等を懸念  
海外 自動化需要高まる一方で地政学的リスクなども考慮  
海外売上高は現地通貨ベースで11.8%増、海外比率は52%



## 21年度 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中・亜とも下期不透明性高く慎重な見方、年間で対前年伸長  
米・欧 EVや医療等の需要開拓継続も他地域同様に不透明



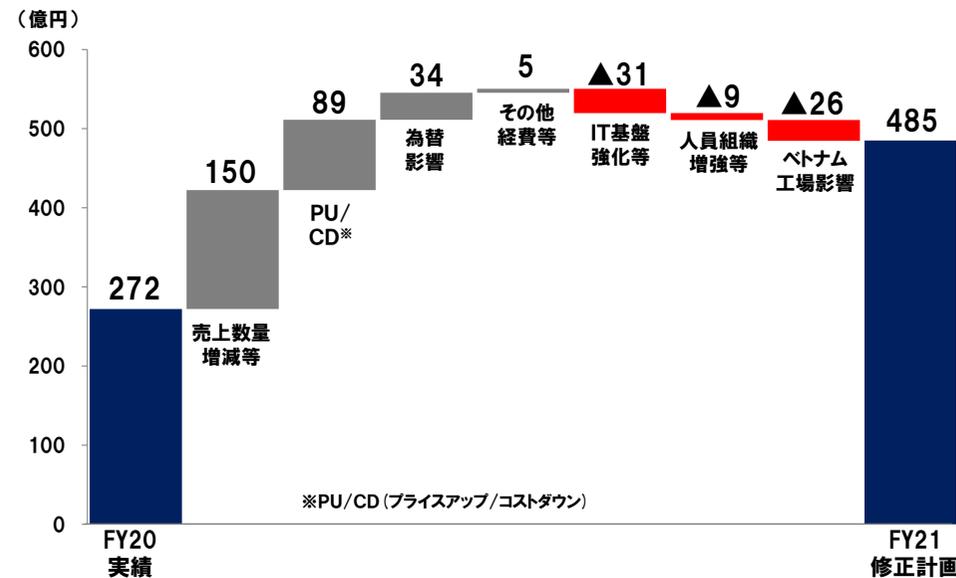
中国 113(105)  
アジア 122(118)  
( )内は現地通貨ベース

為替レート(対円)	FY20 実績	FY21 下期計画	FY21 通期計画
USドル	106.2円	107.0円	108.7円
ユーロ	123.7円	128.0円	130.1円
人民元	15.6円	16.5円	16.8円

18

## 21年度 営業利益増減分析(前年比)

売上増、収益改善、為替により計画過達、支出増を大きくカバー  
持続的成長に向けたIT基盤・人員組織強化を下期から積極化



※PU/CD(プライスアップ/コストダウン)

19

# 株主還元

21年度上期配当は18.33円で前年同期比12.42円増  
 年間配当は30.98円、前年比15.89円増、過去最高更新を見込む



※2015年7月1日をもって1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、配当金についても週及調整しております。

# まとめ

長期的に自動化需要拡大の見方は不変、競争優位性強化を徹底

